

日本助産師会熊本地震災害支援活動報告

平成 28 年 5 月 10 日時点

日本助産師会（本会）では 4 月 14 日の地震発生直後から熊本県助産師会（県助産師会）と連携のもと、支援活動を展開してまいりました。県助産師会では会員が 15 日には益城町に入り、支援物資を持参し情報収集を行いました。ミルク、哺乳瓶、生理用品等の不足情報を得て、賛助会員等の企業様からの速やかなご協力により物資を送ることができました。

ご協力いただきました企業様等には深く感謝申し上げます。

4 月 16 日深夜の本震発生後は熊本市内の避難所に県助産師会会員が訪問し、母子相談や支援に当たっております。母子支援の延べ総数は 800 件を超えております。

本会からは母子支援に利用していただくように寄付金から県助産師会に支援金として 3 回にわたって振り込んでおります。

ご寄付いただきました方のご厚意には深くお礼申し上げます。

メディアを通じた情報発信も行っております。本会と県助産師会の母子の電話相談についてご案内し、相談を行っています。

県助産師会では宿泊型の母子福祉避難所を「友の家」の協力を得て設置し、24 時間体制で運営しております。デイケアについては、ジョイセフから資金支援を得、母子ケアについては本会登録の九州地区ボランティアが 15 日以降派遣活動予定です。

有床の助産所等で母子受け入れをいち早く表明するなど、九州地区の県助産師会も支援活動を行なっております。

長期化が見込まれる被災母子支援は、時間経過とともにニーズが変化します。日本助産師会では、全国の都道府県助産師会とともに、今後も熊本県助産師会の支援活動の後方支援を中心に行っていく所存です。また、厚生労働省母子保健課、日本産婦人科医会等関連団体とも連携を図っております。

以上、簡単ではございますが現時点での報告とさせていただきます。

今後とも皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。